

～ 都立高校入試 実施要綱発表 ～

先日、東京都教育委員会より、令和3年度東京都立高等学校入学者選抜に関し、実施要綱を定め、次のとおり実施すると発表がありました。

コロナ禍における対策として、例年と大きく異なる点もあります。

【1】試験日について

	出願	試験日	合格発表日
推薦	1/12～15 郵送のみ	1/26 または 1/27	2/2 校内掲示+サイト
第一次募集	1/29～2/4 郵送のみ	2/21 のみ	3/2 校内掲示+サイト
第二次募集	3/5 直接	3/10 のみ	3/16 校内掲示+サイト

【2】主な変更点

・ 出願手続き

推薦及び第一次募集において、入学願書等の書類は志願者が都立高校へ持参して提出していたが、原則として郵送により提出する方法に変更。立川高校において、インターネットを活用した出願方法を試行。

・ 試験日時

推薦及び第一次募集は、これまで1日又は2日で実施していたが、原則として1日で実施。第一次募集において、検査間の休憩時間を20分から30分に変更。

・ 募集停止の高校

武蔵高校と富士高校は募集停止。

・ 新設の高校

赤羽北桜高校が新設。保育栄養科・調理科・介護福祉科の3学科から構成。

・ 募集学級減の高校

杉並・清瀬・久留米西・田無・東村山西・府中西・上水高校などで募集人数減。
合計31校31学級減。

・ 推薦入試にて

一般推薦において、志願者全員に実施する個人面接のほか、小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査のうちから、いずれか一つ以上の検査を実施。

集団討論は実施しない。

文化・スポーツ等特別推薦の基準に、大会の実績や、資格・検定試験等の成績に関わる内容を含めず、「実績等を証明する書類等の写し」の提出も求めない。

(各高校から文化・スポーツ特別推薦の基準、例：中学校3年間で〇〇部に所属またはクラブチームに所属して熱心に活動した者、などが示されている)

・ 自校作成問題実施校

英語・数学・国語を各学校にて作成し入試を行う学校は以下の11校。

日比谷・国立・西・戸山・青山・八王子東・立川・新宿・隅田川・国分寺。

昨年度まで自校作成実施校であった大泉・両国・白鷗は共通問題での実施。

・ 出題範囲の除外

「緊急事態宣言」に伴う臨時休業の実施状況を踏まえ、以下の範囲について出題範囲より削除。

(国語) 中3の教科書で学習する漢字

(数学) 中3で学習する「三平方の定理」「標本調査」

(英語) 中3で学習する関係代名詞のうち、主格の that, who, which と目的格の that, which

(社会) 公民分野の「国民の生活と政府」「私たちと国際社会の諸課題」

(理科) 第1分野の『運動とエネルギー』単元の「力学的エネルギー」『科学技術と人間』、第2分野の『地球と宇宙』の「太陽系と恒星」『自然と人間』

・ 合格発表

合格者の受検番号を都立高校内に掲示してきたが、これに加え、ウェブサイトへの掲載も実施。

・ 得点や答案の開示

本人得点等の開示では、不合格者からの申請受付は合格発表日からだったが、入学手続が終了した翌日から受け付ける日程に変更。

【3】継続して実施する選抜方法

・ 男女別定員制の緩和(全42校) 井草・小平・清瀬・鷺宮・日野・府中東・拝島など。
※清瀬は今回から実施。

・ 分割募集(全26校) 府中東・大山・田柄・東村山・練馬工業・中野工業など。

・ 学力検査の傾斜配点(全9校) 国際の英語2倍、小平(外国語)の英語2倍、多摩科学技術の数学と理科が1.5倍、松が谷(外国語)の国語と英語が2倍、など。

東京都教育委員会 HP より